

令和6年度 富岡東地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

担当エリアは富岡第二地区と金沢シーサイドタウン地区はそれぞれに65歳以上の人口割合が増え、今後急速に高齢化が進行する見込みである。介護予防の取り組みは引き続き重要であるが、それでも地形や住居の制約、疾患等から移動が困難になり、地域社会から孤立する方が増えるリスクが高い地域であると思われる。地域支援の担い手の発掘と見守りを兼ねた気軽に立ち寄れる居場所をつくっていくことが必要であると思われる。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	エリア内の誰もが気軽に立ち寄れる場所に、地域住民の居場所となる拠点を、住民主体で継続的に設置できるよう調査、交渉を行っていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症の方や家族から話を聞く機会を設けるなど「認知症を前提とする社会」についての普及啓発を行い、認知症は「誰にも関わること。誰もが関わること」ということを意識して、日常の中でできることを一緒に考える機会を設ける。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	毎月の会議等で地域課題について情報交換を行い、地域ケア会議の議題として適切なケースを検討する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	施設利用団体だけでなく、様々な来館者や地域の会議などに出席した際にもコミュニケーションを積極的にとり、地域ニーズの把握に努める。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	基幹相談支援センターや後見の支援室等との連携事業を通じて、高齢化していく障害者の権利擁護につなげていく。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

身体機能や認知機能の低下、住民同士の活動や交流を図れるような地域住民のニーズを踏まえ、ケアプラザ、地域も様々な行事・事業が活発な取り組みができました。介護相談も増えており、地域の急速な高齢化が進んでおり、ケースカンファレンスに全職種で参加し、地域の個別ケースから新たな課題を見つけて事業に結び付けていくことを心掛けてきました。地域の中で孤立している独居や夫婦のみの高齢者、ケアプラザで行っている事業等に参加しない、できない高齢者へどんな事業に参加したいと思えるかを検討する必要があることなどさまざまな課題を今後の事業につなげていきたいと考えています。

区からのコメント

高齢化が急速に進んでいる地域ですが、ケアプラザ内の事業に限らず、積極的に外に出られて情報発信や事業を実施しながらニーズの把握に努められました。また把握したニーズに基づき、企業や教育機関等とも積極的に連携しながら、地域特性に応じて多様な事業の受け皿を用意されました。今後も地域と丁寧に擦り合わせを行いながら課題やニーズに基づいた事業を展開いただきますようお願いいたします。子どもや子育て世代を対象としたイベントや食育講座等を数多く開催されました。特に、イベント実施にあたっては養育者や学校とも連携しながら企画段階から子どもたちに入ってもらえたことで、結果的に多くの参加者が楽しめたイベントとなりました。地域ケアプラザが子ども・子育て世代にとっても集える場所となるよう引き続き情報発信や楽しいきっかけづくりをお願いいたします。